

審査意見への対応を記載した書類（本文）（6月）

（目次） 東京医科大学大学院看護学研究科

【設置の趣旨・目的等】

1. 3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーをいう。以下同じ。）について、以下の点を明確にするとともに、必要に応じて適切に改めること。なお、3つのポリシーの整合性については、対応関係が明確になるよう、図や表を用いるなどにより、明確かつ具体的に説明すること。 ……3

(1) 「設置の趣旨等を記載した書類（資料）」の「資料4」においてDPとCPの対応関係が示されているが、CP1についてはいずれのDPとも対応していない。また、「設置の趣旨等を記載する書類（本文）」においても、DPとCPの関係についての記載が見受けられないことから、ディプロマ・ポリシーを踏まえた適切なカリキュラム・ポリシーが設定されているとは判断できない。このため、ディプロマ・ポリシーに整合したカリキュラム・ポリシーが適切に設定されていることについて明確かつ具体的に説明するとともに、必要に応じて適切に改めること。

(2) 「設置の趣旨等を記載した書類（資料）」の「【資料2】3つのポリシーと教育課程の相関」について本資料は3つのポリシー間やカリキュラム・ポリシーと教育課程の対応関係を示しているものとは見受けられない。また、ほかにカリキュラム・ポリシーとアドミッション・ポリシーの対応関係を説明している資料等もないことから、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに整合したアドミッション・ポリシーが適切に設定されているのか疑義がある。このため、関連する審査意見への対応を踏まえて、本専攻が掲げるアドミッション・ポリシーがディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーと整合したものであるとして適切に設定されていることを明確に説明するとともに、必要に応じて適切に改めること。

【教育課程等】

2. 審査意見1のとおり、カリキュラム・ポリシーの妥当性について疑義があることから、教育課程全体が妥当であるとの判断をすることができない。このため、審査意見1への対応や以下に例示する点を踏まえて、本学科の教育課程がディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき、修得 ……5

すべき知識や能力等に係る教育が網羅され、体系的性が担保された上で、適切に編成されていることを明確に説明するとともに、必要に応じて適切に改めること。

(1) 「設置の趣旨等を記載した書類（資料）」の「資料4」において、CP2に基づいて「共通基礎科目」が配置されており、当該科目区分に配置する科目についてはDP1からDP4までの4つのDPと対応していると思受けられる。しかしながら、同書類の「資料5」においては「共通基礎科目」に配置されている科目の一部についてDP5との対応関係が示されていることから、カリキュラム・ポリシーを踏まえた教育課程が適切に設定されているかどうか疑義がある。

(2) DP1については「設置の趣旨等を記載した書類（本文）」の「I3.看護学研究科看護学専攻設置の趣旨及び必要性」において「多様な文化や価値観を有する人たちへの看護の質の向上のための諸課題を探究していく力も求められる」ことと説明していることを踏まえ、「看護の諸課題を探究する能力を身に付けている」ことを掲げているように見受けられる。このことについて、同書類の「IV3.教育課程の編成の特色」において「国籍や性など多様な文化をもつ人々の理解とそれに基づく看護について学修『異文化異看護特論』を配置した」と説明していることを踏まえると、当該科目の履修を通じてDP1に掲げる資質・能力を涵養すると見受けられるが、「設置の趣旨等を記載した書類（資料）」の「資料5」において当該科目とDP1との関係が示されていないことから、当該科目がDP5のみと対応することの妥当性に疑義がある。加えて、当該科目は選択科目であることから、当該科目の履修を通してDP1に掲げる資質・能力を涵養する場合には、当該科目を履修しない学生に対して、どの様にしてDP1に掲げる資質・能力を修得させるのか判然としない。

【教育研究実施組織】

3. 教員資格審査において「不可」や「保留」、「適格な職位・区分であれば可」…11
となった授業科目について、当該授業科目を担当する教員を専任教員以外の教員で補充する場合には、当該授業科目の教育課程における位置付け等を明確にした上で、当該教員を後任として補充することの妥当性について説明すること。

審査意見への対応を記載した書類（6月）

（是正事項）看護学研究科

1, 3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーをいう。以下同じ。）について、以下の点を明確にするとともに、必要に応じて適切に改めること。なお、3つのポリシーの整合性については、対応関係が明確になるよう、図や表を用いるなどにより、明確かつ具体的に説明すること。

（1）「設置の趣旨等を記載した書類（資料）」の「資料4」においてDPとCPの対応関係が示されているが、CP1についてはいずれのDPとも対応していない。また、「設置の趣旨等を記載する書類（本文）」においても、DPとCPの関係についての記載が見受けられないことから、ディプロマ・ポリシーを踏まえた適切なカリキュラム・ポリシーが設定されているとは判断できない。このため、ディプロマ・ポリシーに整合したカリキュラム・ポリシーが適切に設定されていることについて明確かつ具体的に説明するとともに、必要に応じて適切に改めること。

（2）「設置の趣旨等を記載した書類（資料）」の「【資料2】3つのポリシーと教育課程の相関」について本資料は3つのポリシー間やカリキュラム・ポリシーと教育課程の対応関係を示しているものとは見受けられない。また、ほかにカリキュラム・ポリシーとアドミッション・ポリシーの対応関係を説明している資料等もないことから、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに整合したアドミッション・ポリシーが適切に設定されているのか疑義がある。このため、関連する審査意見への対応を踏まえて、本専攻が掲げるアドミッション・ポリシーがディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーと整合したものとして適切に設定されていることを明確に説明するとともに、必要に応じて適切に改めること。

（対応）

（1）当初、CP1としていたもの（科目区分については、「共通基礎科目」「専門科目」「研究科目」の3つの科目区分を設ける。1年次前期は共通基礎科目、専門科目を、1年次後期以降には、加えて研究科目を配置する）はCP設定の前提を説明したものであり、CPからは削除し、CPに関する冒頭の説明に加えることとしました。これに伴い、当初CP2~5としていたものを、CP1~4に改めました。このことは、「設置の趣旨等を記載した書類(本文)」内、「I 設置の趣旨及び必要性」の「7. カリキュラム・ポリシー」において修正しまし

た(下線部)。また、「IV 教育課程の編成の考え方及び特色」の「2.教育課程編成/実施の方針：1) 編成の方針」において、CP と DP の関係を追記しました(下線部)。

【資料 4】について、当初は CP と DP の関係のみを図示していましたが、更に AP との関係も示す図表を検討し、これを「【資料 3-1】3つのポリシーの関係(図)」「【資料 3-2】3つのポリシーの関係(表)」と大幅に改めました。(これに伴い、当初の【資料 3】東京医科大学学位規程が【資料 4】となりました。)

(2) 本意見に対しては、上記(1)への対応と共に、「設置の趣旨等を記載した書類(本文)」内、「I 設置の趣旨及び必要性」の「8.アドミッション・ポリシー」冒頭に追記しました(下線部)。併せて、当初の【資料 2】については、「【資料 2】カリキュラム・ツリー」と内容・名称ともに改めました。

* 「設置の趣旨等を記載した書類(本文)」内、「I 設置の趣旨及び必要性」の「7.カリキュラム・ポリシー」に誤記があったため、併せて修正しました(下線部箇所)。

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類(本文 8 ページ)

新	旧
<p>I 設置の趣旨及び必要性</p> <p>7. カリキュラム・ポリシー</p> <p>本研究科修士課程は、看護の特徴により<基盤看護学領域><こども・女性看護学領域><療養支援看護学領域><広域看護学領域>の4つの領域を置き、各々の看護の専門性を探求する科目を配置する。</p> <p>基礎的研究能力を基盤に看護実践者として実践や教育に還元する看護職、あるいは将来自立した教育研究者となる看護職を養成する「研究コース」に加え、多様化・複雑化する人々のニーズに卓越した看護実践能力で応えることのできる専門看護師を養成する「高度実践看護師コース」をおく。</p> <p>科目区分については、「共通基礎科目」「専門科目」「研究科目」の3つの科目区分を設ける。<u>1 年次前期は共通基礎科目、専門科目を、1 年次後期以降には、加えて研究科目を</u></p>	<p>I 設置の趣旨及び必要性</p> <p>7. カリキュラム・ポリシー</p> <p>本研究科修士課程は、看護の特徴により<基盤看護学領域><こども・女性看護学領域><療養支援看護学領域><広域看護学領域>の4つの領域を置き、各々の看護の専門性を探求する科目を配置する。</p> <p>基礎的研究能力を基盤に看護実践者として実践や教育に還元する看護職、あるいは将来自立した教育研究者となる看護職を養成する「研究コース」に加え、多様化・複雑化する人々のニーズに卓越した看護実践能力で応えることのできる専門看護師を養成する「高度実践看護師コース」をおく。</p> <p>1) 科目区分については、「共通基礎科目」「専門科目」「研究科目」の3つの科目区分を設ける。</p> <p style="text-align: right;"><u>下記 5) 本文を移行</u></p>

<p>配置する。</p> <p>1) 「共通基礎科目」には、基礎的研究能力、基礎的教育能力、高度な看護実践能力の基盤を養う科目を配置する。</p> <p>2) 「専門科目」には、「共通基礎科目」における学修と、各領域に特有の専門的知識・技術を統合し深化する科目を配置する。</p> <p>3) 「研究科目」には、「共通基礎科目」「専門科目」における学修を土台に、看護の質向上に貢献する基礎的研究能力を養う科目を配置する。</p> <p style="text-align: center;"><u>左記 1) 5) を前文に移行</u></p> <p>4) 高度実践看護師コースは、専門看護師として必要な知識・技術などを身につける科目を配する。</p> <p>8. アドミッション・ポリシー</p> <p><u>本研究科の掲げるディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを踏まえ、入学受け入れ者に求める能力を、研究コース、高度実践看護師コースともに以下の通り定める。</u></p> <p>1) 看護職として生涯に渡り自ら学び続ける意欲を有する人</p> <p>2) 看護学の専門領域における知識・実践力を有する人</p> <p>3) 研究に関する基礎的知識を有し、論理的思考のできる人</p> <p>4) 幅広い視野で事象を捉える力と教養を有する人</p> <p>5) 将来、看護実践者、研究者、教育者として看護の質向上への貢献を目指す人</p>	<p>2) 「共通基礎科目」には、基礎的研究能力、基礎的教育能力、高度な看護実践能力の基盤を養う科目を配置する。</p> <p>3) 「専門科目」には、「共通基礎科目」における学修と、各領域に特有の専門的知識・技術を統合し深化する科目を配置する。</p> <p>4) 「研究科目」には、「共通基礎科目」「専門科目」における学修を土台に、看護の質向上に貢献する基礎的研究能力を養う科目を配置する。</p> <p>5) <u>1 年次前期は共通基礎科目、専門科目を、1 年次後期以降には、専門科目に加えて研究科目を配置する。</u></p> <p>6) 高度実践看護師コースは、専門看護師として必要な知識・技術などを身につける科目を配する。</p> <p>8. アドミッション・ポリシー</p> <p style="text-align: center;"><u>(追記)</u></p> <p>1) 看護職として生涯に渡り自ら学び続ける意欲を有する人</p> <p>2) 看護学の専門領域における知識・実践力を有する人</p> <p>3) 研究に関する基礎的知識を有し、論理的思考のできる人</p> <p>4) 幅広い視野で事象を捉える力と教養を有する人</p> <p>5) 将来、看護実践者、研究者、教育者として看護の質向上への貢献を目指す人</p>
--	--

(差替)	【資料 2】 3つのポリシーと教育課程の相 関
【資料 2】 <u>カリキュラム・ツリー</u>	
【資料 3-1】 <u>3つのポリシーの関係(図)</u>	(差替)
【資料 3-2】 <u>3つのポリシーの関係(表)</u>	

(是正事項)

2. 審査意見1のとおり、カリキュラム・ポリシーの妥当性について疑義があることから、教育課程全体が妥当であるとの判断をすることができない。このため、審査意見1への対応や以下に例示する点を踏まえて、本学科の教育課程がディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき、修得すべき知識や能力等に係る教育が網羅され、体系性が担保された上で、適切に編成されていることを明確に説明するとともに、必要に応じて適切に改めること。

(1) 「設置の趣旨等を記載した書類(資料)」の「資料4」において、CP2に基づいて「共通基礎科目」が配置されており、当該科目区分に配置する科目についてはDP1からDP4までの4つのDPと対応していると見受けられる。しかしながら、同書類の「資料5」においては「共通基礎科目」に配置されている科目の一部についてDP5との対応関係が示されていることから、カリキュラム・ポリシーを踏まえた教育課程が適切に設定されているかどうか疑義がある。

(2) DP1については「設置の趣旨等を記載した書類(本文)」の「I3.看護学研究科看護学専攻設置の趣旨及び必要性」において「多様な文化や価値観を有する人たちへの看護の質の向上のための諸課題を探究していく力も求められる」と説明していることを踏まえ、「看護の諸課題を探究する能力を身に付けている」ことを掲げているように見受けられる。このことについて、同書類の「IV3.教育課程の編成の特色」において「国籍や性など多様な文化をもつ人々の理解とそれに基づく看護について学修『異文化異看護特論』を配置した」と説明していることを踏まえると、当該科目の履修を通じてDP1に掲げる資質・能力を涵養すると見受けられるが、「設置の趣旨等を記載した書類(資料)」の「資料5」において当該科目とDP1との関係が示されていないことから、当該科目がDP5のみと対応するとすることの妥当性に疑義がある。加えて、当該科目は選択科目であることから、当該科目の履修を通してDP1に掲げる資質・能力を涵養する場合には、当該科目を履修しない学生に対して、どの様にしてDP1に掲げる資質・能力を修得させるのか判然としない。

(対応)

(1) 当初の【資料4】において、ご指摘の通り、CP2とDP5の対応関係の図示が漏れておりました。本件については、上記【設置の趣旨・目的等】で頂いた審査意見1で対応した通り、3ポリシーの関係を図示する【資料3-1】、同内容を表示する【資料3-2】でCPとDPの対応関係を明示した際、CP2とDP5の関係についても修正しました。

また、「設置の趣旨等を記載した書類(本文)」内、「IV 教育課程の編成の考え方及び特色」の「2.教育課程編成/実施の方針：1)編成の方針」に、当初のCP2(修正後CP1)が全てのDPに対応することを追記しました(下線部)。

(2) ご指摘を受け、「異文化看護特論」はDP1とも対応することを追記しました。その達成のために、研究コースでは本科目を選択科目ではなく必修科目と改めます。高度実践看護師コースでは、共通基礎科目の必修科目「看護倫理特論」内、「価値とは」において、文化的価値を含む価値の多様性を学ぶため、そこからも学びを発展させていくことが可能と考えます。これらのことから、「IV 教育課程の編成の考え方及び特色」の「3.教育課程の特色」において、共通基礎科目、研究科目については、各コースで必修となる科目名とその単位数を明示しました。専門科目については各コースで必修の単位数を明示しました。

上記修正に伴い、【資料5】は「カリキュラム・マップ」とし、名称と内容の一部を修正しました。

* 審査意見に「当該科目がDP5のみと対応するとすることの妥当性に疑義がある」とありましたが、DP2の誤記と思われるので、DP5については加筆しておりません。

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (本文 11 ページ)

新	旧
IV 教育課程の編成の考え方及び特色 <u>(中略)</u>	IV 教育課程の編成の考え方及び特色 <u>(中略)</u>
2. 教育課程編成/実施の方針 (カリキュラム・ポリシー) 1) 編成の方針 本研究科修士課程は、看護の特徴により<基盤看護学領域><こども・女性看護学領域><療養支援看護学領域><広域看護学領域>の4つの領域を置き、各々の看護の	2. 教育課程編成/実施の方針 (カリキュラム・ポリシー) 1) 編成の方針 本研究科修士課程は、看護の特徴により<基盤看護学領域><こども・女性看護学領域><療養支援看護学領域><広域看護学領域>の4つの領域を置き、各々の看護の

<p>専門性を探求する科目を配置する。</p> <p>基礎的研究能力を基盤に看護実践者として実践や教育に還元する看護職、あるいは将来自立した教育研究者となる看護職を養成する「研究コース」に加え、多様化・複雑化する人々のニーズに卓越した看護実践能力で応えることのできる専門看護師を養成する「高度実践看護師コース」をおく。</p> <p>科目区分については、「共通基礎科目」「専門科目」「研究科目」の3つを設ける。1年次前期は共通基礎科目、専門科目を、1年次後期以降には、<u>加えて研究科目を配置する。</u></p> <p>(1) 「共通基礎科目」には、基礎的研究能力、基礎的教育能力、高度な看護実践能力の基盤を養う科目を配置する。<u>すべてのディプロマ・ポリシーに対応する。</u></p> <p>(2) 「専門科目」には、「共通基礎科目」における学修と、各領域に特有の専門的知識・技術を統合し深化する科目を配置する。<u>ディプロマ・ポリシー1)「諸課題を探求する能力」、2)「高度な看護実践能力」、4)「基礎的教育能力」、5)「実践現場における課題解決に活用・応用する力」に対応する。</u></p> <p>(3) 「研究科目」には、「共通基礎科目」「専門科目」における学修を土台に、看護の質向上に貢献する基礎的研究能力を養う科目を配置する。<u>これらの科目はディプロマ・ポリシー1)「諸課題を探求する能力」、3)「基礎的研究能力」、さらに、5)「実践現場における課題解決に活用・応用する力」に対応する。</u></p> <p>(4) 高度実践看護師コースは、専門看護師として必要な知識・技術などを身につける科目を配置する。<u>すべてのディプロマ・</u></p>	<p>専門性を探求する科目を配置する。</p> <p>基礎的研究能力を基盤に看護実践者として実践や教育に還元する看護職、あるいは将来自立した教育研究者となる看護職を養成する「研究コース」に加え、多様化・複雑化する人々のニーズに卓越した看護実践能力で応えることのできる専門看護師を養成する「高度実践看護師コース」をおく。</p> <p>(1) 科目区分については、「共通基礎科目」「専門科目」「研究科目」の3つの科目区分を設ける。1年次前期は共通基礎科目、専門科目を、1年次後期以降には、<u>専門科目に加えて研究科目を配置する。</u></p> <p>(2) 「共通基礎科目」には、基礎的研究能力、基礎的教育能力、高度な看護実践能力の基盤を養う科目を配置する。 <u>(追記)</u></p> <p>(3) 「専門科目」には、「共通基礎科目」における学修と、各領域に特有の専門的知識・技術を統合し深化する科目を配置する。 <u>(追記)</u></p> <p>(4) 「研究科目」には、「共通基礎科目」「専門科目」における学修を土台に、看護の質向上に貢献する基礎的研究能力を養う科目を配置する。 <u>(追記)</u></p> <p>(5) 高度実践看護師コースは、専門看護師として必要な知識・技術などを身につける科目を配置する。</p>
--	---

<p>ポリシーに対応する。</p> <p style="text-align: center;">(差替)</p> <p>【資料 3-1】 3つのポリシーの関係 (図)</p> <p>【資料 3-2】 3つのポリシーの関係 (表)</p> <p>【資料 5】 カリキュラム・マップ</p> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <p>3. 教育課程の編成の特色</p> <p>1) 本研究科の教育課程</p> <p>本研究科の教育課程は、「共通基礎科目」「専門科目」「研究科目」の3つの科目区分を設ける。</p> <p>(1) 共通基礎科目</p> <p>【共通基礎科目】は、看護実践の基盤となる理論的知識、研究・教育能力の基盤となる専門的知識、高度な臨床判断の基盤となる医学的知識を学修する科目群であり、【専門科目】【研究科目】の学修の基盤となる。</p> <p>高度な看護実践能力を養う科目として、看護実践の基盤となる看護諸理論について学修する「<u>看護理論特論</u>」、看護実践における倫理的問題・課題を明確にし、関係者間での倫理調整のための基本を学修する「<u>看護倫理特論</u>」(高度実践看護師コース必修2単位)、国籍や性など多様な文化をもつ人々の理解とそれに基づく看護について学修する「<u>異文化看護特論</u>」(研究コース必修2単位)を配置した。また、対象の身体状況を診査し、臨床看護判断を行うために必要な知識・技術を修得する「<u>フィジ</u></p>	<p style="text-align: center;">(追記)</p> <p>【資料 4】カリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシーの関係</p> <p>【資料 5】教育課程とディプロマ・ポリシーの相関</p> <p style="text-align: center;">(差替)</p> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <p>3. 教育課程の編成の特色</p> <p>1) 本研究科の教育課程</p> <p>本研究科の教育課程は、「共通基礎科目」「専門科目」「研究科目」の3つの科目区分を設ける。</p> <p>(1) 共通基礎科目</p> <p>【共通基礎科目】は、看護実践の基盤となる理論的知識、研究・教育能力の基盤となる専門的知識、高度な臨床判断の基盤となる医学的知識を学修する科目群であり、【専門科目】【研究科目】の学修の基盤となる。</p> <p>高度な看護実践能力を養う科目として、看護実践の基盤となる看護諸理論について学修する「<u>看護理論特論</u>」、看護実践における倫理的問題・課題を明確にし、関係者間での倫理調整のための基本を学修する「<u>看護倫理特論</u>」、国籍や性など多様な文化をもつ人々の理解とそれに基づく看護について学修する「<u>異文化看護特論</u>」を配置した。また、対象の身体状況を診査し、臨床看護判断を行うために必要な知識・技術を修得する「<u>フィジ</u></p>
--	---

<p>カルアセスメント」、対象の特性・症状に基づいた薬剤使用の判断、投与後モニタリング、服薬アドヒアランス向上等の援助に必要な知識・技術を修得する「<u>臨床薬理学</u>」、対象の病態生理学的変化をエビデンスに基づき解釈し臨床看護判断を行うために必要な知識・技術を修得する「<u>病態生理学</u>」を配置した（いずれも高度実践看護師コース必修、各2単位）。</p> <p>基礎的研究能力を修得する科目として、看護学の研究の意義、基本的な研究方法、研究プロセスについて学修する「<u>看護研究方法論Ⅰ</u>」（両コースとも必修2単位）、保健・医療・福祉における問題の発見と解決に必要な統計学の考え方を理解し、その標準的手法を学修する「<u>医療データサイエンス特論</u>」（研究コース必修1単位）、量的研究の読解とクリティーク、および看護に関連するデータを用いて統計学的解析手法を学修する「<u>看護研究方法論Ⅱ</u>」（研究コース必修1単位）を配置した。</p> <p>基礎的教育能力を修得する科目として、看護学の基礎教育および現任教育の特徴、教育の展開に必要な理論、プロセスについて学修する「<u>看護教育特論</u>」（両コースとも必修2単位）、質の高い看護サービス提供のための基本的なマネジメントにかかる理論・方法について学修する「<u>看護マネジメント特論</u>」（両コースとも必修2単位）、保健・医療・福祉の場において各種ケアを提供する専門職が直面する問題の解決のための具体的援助方法としてコンサルテーションの理論・方法について学修する「<u>コンサルテーション特論</u>」を配置した。</p> <p>なお、「看護理論特論」「看護倫理特論」「看護教育特論」「看護マネジメント特論」「コ</p>	<p>カルアセスメント」、対象の特性・症状に基づいた薬剤使用の判断、投与後モニタリング、服薬アドヒアランス向上等の援助に必要な知識・技術を修得する「<u>臨床薬理学</u>」、対象の病態生理学的変化をエビデンスに基づき解釈し臨床看護判断を行うために必要な知識・技術を修得する「<u>病態生理学</u>」を配置した。</p> <p>基礎的研究能力を修得する科目として、看護学の研究の意義、基本的な研究方法、研究プロセスについて学修する「<u>看護研究方法論Ⅰ</u>」、保健・医療・福祉における問題の発見と解決に必要な統計学の考え方を理解し、その標準的手法を学修する「<u>医療データサイエンス特論</u>」、量的研究の読解とクリティーク、および看護に関連するデータを用いて統計学的解析手法を学修する「<u>看護研究方法論Ⅱ</u>」を配置した。</p> <p>基礎的教育能力を修得する科目として、看護学の基礎教育および現任教育の特徴、教育の展開に必要な理論、プロセスについて学修する「<u>看護教育特論</u>」、質の高い看護サービス提供のための基本的なマネジメントにかかる理論・方法について学修する「<u>看護マネジメント特論</u>」、保健・医療・福祉の場において各種ケアを提供する専門職が直面する問題の解決のための具体的援助方法としてコンサルテーションの理論・方法について学修する「<u>コンサルテーション特論</u>」を配置した。</p> <p>なお、「看護理論特論」「看護倫理特論」「看護教育特論」「看護マネジメント特論」「コ</p>
--	--

ンサルテーション特論」「看護研究方法論 I」は専門看護師教育課程規準（共通科目 A）、「フィジカルアセスメント」「臨床薬理学」「病態生理学」は、同規準（共通科目 B）に示される高度実践看護師の機能を身につけるための科目でもある。

（差替）

【資料 3-1】 3つのポリシーの関係(図)

【資料 3-2】 3つのポリシーの関係(表)

【資料 5】 カリキュラム・マップ

（2）専門科目

【専門科目】は、各専門領域の対象の特性に応じた、高度な看護実践の基盤となる知識・技術を習得する科目群である。看護の特徴により、＜基盤看護学領域＞＜こども・女性看護学領域＞＜療養支援看護学領域＞＜広域看護学領域＞の4つの領域を設け、各領域の専門性を探究する科目を配置した。

各領域における主要な概念・理論、様々な援助方法、国内外の最新の知見などを学修する「特論」、特定の課題に対する自己学習とそれに基づく討論を通し探究する

「演習」をおく（研究コース：各分野の特論 4 単位、演習 4 単位必修。高度実践看護師コース：各分野の特論および演習計 14 単位必修）。

加えて、「高度実践看護師コース」では専門看護師の6つの役割（実践、調整、倫理調整、コンサルテーション、教育、研究）を果たす能力を修得する「実習」をおく（10 単位必修）。

ンサルテーション特論」「看護研究方法論 I」は専門看護師教育課程規準（共通科目 A）、「フィジカルアセスメント」「臨床薬理学」「病態生理学」は、同規準（共通科目 B）に示される高度実践看護師の機能を身につけるための科目でもある。

【資料 4】 カリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシーの関係

【資料 5】 教育課程とディプロマ・ポリシーの相関

（差替）

（2）専門科目

【専門科目】は、各専門領域の対象の特性に応じた、高度な看護実践の基盤となる知識・技術を習得する科目群である。看護の特徴により、＜基盤看護学領域＞＜こども・女性看護学領域＞＜療養支援看護学領域＞＜広域看護学領域＞の4つの領域を設け、各領域の専門性を探究する科目を配置した。

各領域における主要な概念・理論、様々な援助方法、国内外の最新の知見などを学修する「特論」、特定の課題に対する自己学習とそれに基づく討論を通し探究する

「演習」をおく。

（追記）

加えて、「高度実践看護師コース」では専門看護師の6つの役割（実践、調整、倫理調整、コンサルテーション、教育、研究）を果たす能力を修得する「実習」をおく（10 単位必修）。

(中略)	(中略)
<p>(3) 研究科目</p> <p>【研究科目】は、各領域の実践に根差す研究課題を、研究手法、研究倫理などの知識を用いて科学的に分析し、研究論文を作成する科目群である。研究コースでは「特別研究Ⅰ」「特別研究Ⅱ」(両科目計 8 単位必修)を、高度実践看護師コースでは「課題研究」(4 単位必修)をおく。</p> <p>2) 高度実践看護師コース</p> <p>高度実践看護師コースでは、がん看護専門看護師、精神看護専門看護師、小児看護専門看護師の各資格認定審査に必要な科目を配置する。</p>	<p>(3) 研究科目</p> <p>【研究科目】は、各領域の実践に根差す研究課題を、研究手法、研究倫理などの知識を用いて科学的に分析し、研究論文を作成する科目群である。研究コースでは「特別研究Ⅰ」「特別研究Ⅱ」を、高度実践看護師コースでは「課題研究」をおく。</p> <p>2) 高度実践看護師コース</p> <p>高度実践看護師コースでは、がん看護専門看護師、精神看護専門看護師、小児看護専門看護師の各資格認定審査に必要な科目を配置する。</p>

【教育研究実施組織】

<p>3. 教員資格審査において「不可」や「保留」、「適格な職位・区分であれば可」となった授業科目について、当該授業科目を担当する教員を専任教員以外の教員で補充する場合には、当該授業科目の教育課程における位置付け等を明確にした上で、当該教員を後任として補充することの妥当性について説明すること。</p>

(対応)

教員資格審査において「不可」となったのは、授業科目の判定(科目)教員 2 名、延べ 5 科目のみであり、

(1) 調書番号 7 伊藤綾子准教授が不可となった看護理論特論、看護教育特論、フィジカルアセスメントの 3 科目については、科目責任者の調書番号 1 阿部幸恵教授との「共同」授業であったため、調書番号 1 阿部幸恵教授の単独科目と改めます。

(2) 調書番号 13 新井志穂講師が不可となった公衆衛生学特論Ⅰ・Ⅱについては、オムニバス形式担当回は、特論Ⅰ 2 コマ、特論Ⅱ 1 コマのみであった為、科目責任者の調書番号② 鈴木良美教授が 3 コマを追加担当することで対応します。

よって、「専任教員以外の教員で補充する」ことはありません。

(新旧対照表) シラバス、教育課程等の概要、授業科目の概要

新	旧
<p>看護理論特論 看護教育特論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科目責任者：阿部幸恵 ・科目担当者：阿部幸恵 <p>フィジカルアセスメント (オムニバス・共同 (一部))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科目責任者：阿部幸恵 ・科目担当者：阿部幸恵・原田芳巳 <p>公衆衛生学特論 I 公衆衛生学特論 II (オムニバス・共同 (一部))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科目責任者：鈴木良美 ・科目担当者：鈴木良美・山口拓允 	<p>看護理論特論 <u>(共同)</u> 看護教育特論 <u>(共同)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・科目責任者：阿部幸恵 ・科目担当者：阿部幸恵・<u>伊藤綾子</u> <p>フィジカルアセスメント (オムニバス・共同 (一部))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科目責任者：阿部幸恵 ・科目担当者：阿部幸恵・<u>伊藤綾子</u>・原田芳巳 <p>公衆衛生学特論 I 公衆衛生学特論 II (オムニバス・共同 (一部))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科目責任者：鈴木良美 ・科目担当者：鈴木良美・山口拓允・<u>新井志穂</u>